

日本語がマイノリティ言語である環境で育つ子どもたちの言語発達 —家庭における支援に向けて—

篠沢 薫（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所）

問題と目的

第二言語の英語で教育を受ける子どもの中で、小学校入学時の言語発達の遅れが長期的な学力の伸び悩みにつながる可能性がある（Whiteside & Norbury, 2017）。近年、乳幼児のいる海外在住家庭が増えたことから、言語の遅れを持ちながら海外の現地校に通う日本人児童がいる可能性が考えられる。そこで本研究では言語発達の実態把握をすべく、在住する日本人児童のほとんどが現地校で教育を受けている英国において調査を実施し、日本人児童の日本語と英語の発達と家庭言語環境を多角的に検証した。

方法

対象は、平日は現地校に通い、土曜日に日本人補習授業校に通う現地校の Year 2（補習校の小学部 1 年）の子どもとその保護者 20 組であった。調査内容は子どもの言語発達調査と保護者のインタビュー・質問紙調査であった。言語発達調査では、①発達の評価：1. 非言語推測能力（WISC-IVより 1 課題）、2. 英語の言語能力（理解語彙：ROWPVT4、表出語彙：EOWPVT4、理解文法：TROG-S、表出文法：sentence repetition tasks、誤補文課題、ナラティブ課題）、3. 日本語の言語能力（理解語彙：PVTR、表出語彙：EOWPVT4（日本語訳）、理解文法：J-COSS、表出文法：sentence repetition tasks（日本語訳）、二次誤補文課題、ナラティブ課題）、4. 心の理論課題（strange story、一次二次誤信念課題）を実施した。両言語の課題は 2 日に分けて実施した。表出文法の課題では聴き取りが難しいようであれば中止条件により、その時点で中断した。心の理論課題は英語の課題で通過している場合には日本語の課題は実施しなかった。調査に参加した 20 名のうち 18 名を対象に、父親が日本語母語話者である A 群 8 名とそれ以外（英語 7 名、英語以外の言語 1 名、英語とその他の言語 2 名）の B 群 10 名に分け、実施課題のうち、二次誤補文課題、ナラティブ課題、一次誤信念課題を除いた 10 課題の解析をした。インタビュー調査では保護者に半構造化面接をした。面接内容は、子どもの様子や子どもの言語使用に関する気づきなどである。収集した音声データのうち、母親 19 名を対象に、大谷（2008, 2011）の Steps for Coding and Theorization；SCAT）を用いて分析を行った。②質問紙調査：家庭言語環境について調査した。項目は、滞在年数、家庭での言語使用状況などであった。また、語用能力に関する質問紙（Children's Communication Checklist 2）を両言語について実施した。

結果

【子どもの言語発達調査】

10 課題のうち 7 課題の粗点平均に有意差があった。A 群の方が平均値の高かったものは、日本語の理解語彙、日本語の表出語彙、日本語の表出文法であった。B 群の方が平均値の高かったものは、英語の表出語彙、英語の表出文法、英語の理解文法、発話意図理解であった。課題得点間で相関関係がみられたのは、日本語の表出語彙と日本語の理解語彙、日本語の理解文法と日本語の表出語彙、英語の理解文法と英語の理解語彙、英語の表出語彙、英語の表出文法、発話意図理解（冗談）と英語の表出文法であった。

【保護者のインタビュー調査】

子どもが使う英語への気づきに関して、言語環境への言及があったことが特徴的であった。このことに関する内容を挙げた母親のほとんどが日本人同士の夫婦であった。家庭言語が日本語であることが子どもの英語の発達に及ぼす影響を懸念していた。母親が子どもの言語発達について、子どもの周りの環境面も広く認識していることが示唆された。ただし、国際結婚家庭の母親の言語環境に関する認識については本研究の結果からは明らかにならなかった。

考察

言語発達調査にて群間差のあるものがあつたこと、インタビュー調査にて言語環境に関する言及があつたことから、家庭および家庭以外の言語環境や在英年数もふまえて、さらに検討が必要である。また言語発達調査の課題間の相関より、語彙をよく話せるほど、文をよく理解できることが示唆され、語彙を話すことの難しい子どもは文の理解が難しいということが考えられる。今回の対象児は、全員が現地校に通っているため、英語の語彙を話すことの難しい子どもは、学校での普段の学習に必要な文法の理解も難しくなる可能性がある。また発話意図の理解が英語の表出文法と関係があり、このことは先行研究でいわれている、文法能力と心の理論課題の解決力と関係があるという知見を支持する結果であつたと考えられる。